

よろず
相談室一人暮らしの母倒れ
不仲の妻が介助拒む

「近くで一人暮らししている78歳の母が病気で倒れ、食事や入浴などに介助が必要になりました。長男の私が最期まで面倒を見るべきだと思いますが仕事があります。母と不仲な専業主婦の妻は、『自分でみる

拡大版

か、施設に入れて』と譲りません。親の介護に悩む東広島市の会社員男性(55)からの相談に74件の回答が寄せられました。今回も拡大版でお届けします。

読者からの回答

★妻を思いやって

今の時代に長男だからと自分の親の面倒を妻に押し付ける考えに驚きました。その古い考えや思いやりのなさ、妻と母との不仲の原因では。

(岩国市・無職女性・73歳)

★介護保険活用を

介護負担は家族崩壊の原因にもなりかねません。家族だけで抱え込み、心に余裕がない生活をするより、介護保険サービスを利用しお母さまに優しく接した方がみんな幸せになれる気が

★まず自ら動く

(広島市安佐南区・介護士女性・38歳)

します。利用したからといって介護放棄にはなりませんよ。

★母思うなら施設

嫌がる妻に無理に介護さ

(三次市・主婦・80歳)

中年太りの妻
痩せてほしい

妻の体形を気にする廿日市市の会社員男性(40)からの相談です。「結婚10年。最近、妻(37)が中年太りしてきました。特におなかや顎に贅肉が出てきましたが、本人はさほど気にしていない様子。外見がすべてではありませんが、妻にはきれいでいてほしいもの。本人を傷つけずに痩せてほしいことを伝えるにはどうしたらよいでしょうか」

回答や質問をお寄せください。〒730-8677中国新聞文化部「よろず相談室」係▽メールkurashi@chugoku-np.co.jp▽ファクス082(291)5828。掲載分には図書カードをお送りします。匿名希望でも、住所、名前、職業、年齢、電話番号を明記してください。

次回は26日の予定です。

お答え待ってます

専門家がアドバイス

介護の問題は、一人一人の生き方や人間関係を反映します。



心理カウンセラー

塚田和子さん (広島市南区)

相談者はまず、母と不仲な妻をこれまでどう支えてきたのか、夫としての自分を振り返

真剣に向き合い関係変えて

つていられるのかもしれない。今は介護保険や介護休業などの制度も利用できます。どうしても自宅で妻に介護を頼む

必要があるなら、「やってみよう。母親の気持ちで対応したいか。仕事を持つ自分には何ができるのか。自身の希望や覚悟を明確にし、誠意を持って妻に伝えよう。結果は出ないでしょう。ですが、ここで真剣に向き合えば、夫婦関係や家族関係を変える好機にもなります。

妻と親とのこれまでの関係がよくなければ、簡単に

係から

経験者からの助言が多く寄せられました。日ごろの夫婦間の問題が、介護を機に表面化するケースも多いようです。(森田裕美)

★対価を払うべき

ほかのきょうだいは協力をお願いしないのでしょうか。どうしても妻に介護させ、自分は仕事に行くなら妻に対価を払いましょう。財源はお母さんが蓄えている老後資金が妥当。妻は介護士ではありません。(東広島市・主婦・29歳)